

いきいき介護

Vol. 87

ヘルパーステーション合同学習会



コロナ感染症が5類になり、久しぶりにヘルパー合同学習を行う事ができました。出席人数58名が顔を合わせにぎやかに開催することが出来ました。

学習会内容は、和田管理者（くさつ24）と向管理者（コープ五日市ヘルパーステーション）による「10の基本ケア」と「看護小規模多機能型居宅介護について」の講義を聴き、グループワークで意見交換を行いました。

「10の基本ケア」は大切な人を寝たきりにさせないための介護の基本で、尊厳を守り、自立を支援し、在宅生活を支えるため利用者主体の介護を大切にしています。利用者主体というのがポイントで、グループワークでは、今の介護が介護者側の都合の良い介護になっていないかを改めて考えてみました。

グループワークで出た意見～10の基本ケア編～

- ・限られた時間の中で出来ることを見つけていきたい。
- ・本人の気持ちを置き去りにせずという事は簡単なようで難しい。
- ・基本にかえり自立支援を助けるように努めたい。
- ・すべてをいきなりするのではなく、段階を踏んでいくことも大切である。



「看多機」では「看護」「介護」「通い」「泊まり」4つのサービスの機能を備え、住み慣れた地域（自宅）で暮らすことをサポートします。利用者の体調やご家族の状況に合わせたサービスが提供でき、医療処置が必要な方の受け入れやご自宅や事業所内での看取りが可能であることが、看多機の特徴です。



グループワークで出た意見～看多機編～

- ・4つのサービスが一つの事業所で受けられることは、在宅で生活される方、ご家族にとってとても心強く、安心できる事業所になると思う。
- ・相談窓口が一つで色々な視点からサポートを受けることができるようになれば、気持ちもゆとりが出来ると思います。

久しぶりの学習会は、様々な意見と前向きな発言を聞くことが出来、とても実りある学習会となりました。次回は10の基本ケアの実技講習を今年度中に2回に分け開催する予定しています。

文責：生協かんおん24 土井山淳子